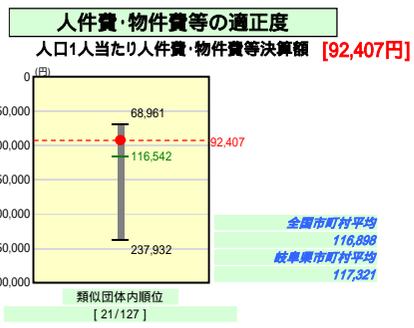
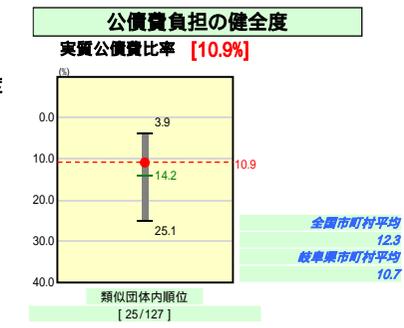
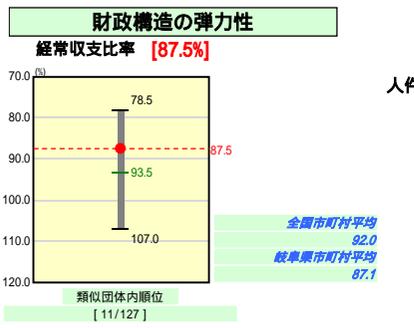
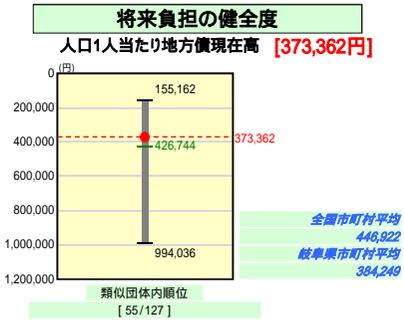
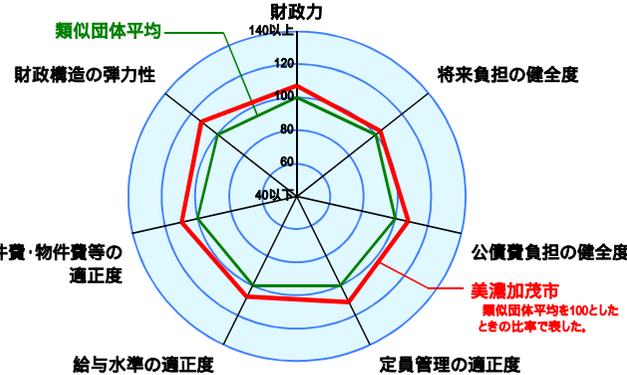
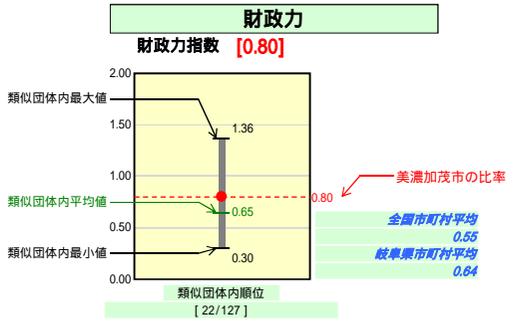


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

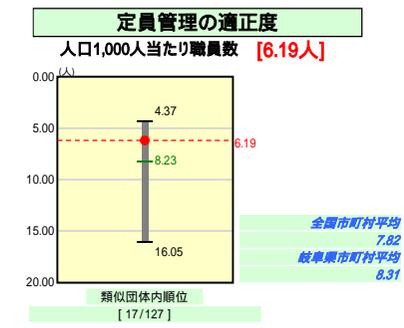
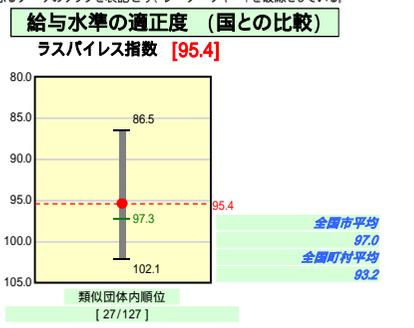
岐阜県 美濃加茂市

人口	49,240	人(H20.3.31現在)
面積	74.81	km ²
歳入総額	17,395,668	千円
歳出総額	15,621,169	千円



給与水準の適正度 (国との比較)

類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力
財政力指数はH16年度～H18年度平均の0.79から0.80へと推移し全国平均の0.55より高く、類似団体平均の0.65から見て高い数値になっています。しかしながら、引き続き人件費などの削減や投資的経費の抑制など、歳入のさらなる見直しを実施するとともに、税の徴収率の向上などの歳入確保に努めます。

財政構造の弾力性
経常収支比率はH18年度の83.7%から87.5%へと推移しました。全国平均の92.0%、類似団体平均の93.5%より低くなっていますが、比率は年々悪化しています(対前年度比3.8%上昇)。今後は義務的経費の削減や抑制などを進め、数値の上昇の抑制に努めます。

人件費・物件費等の適正度
全国平均、類似団体と比較して低い数値となっていますが、人件費は人員適正化に努めたことや、事務の効率化のため、ごみ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることによるものです。これらを含めると類似団体平均を少し下回る程度となります。今後はこれらも含めた経費について、抑制していく必要があります。
物件費は、賃金、需用費、委託料の割合が大きく、特に賃金や委託料は増加傾向にあるので必要以上に増加しないよう努めます。

給与水準の適正度
給与水準の適正化により、ラスバイレス指数を抑えていくようにしているところではありますが、昨年度より上昇しています。今後も集中改革プランのもと適正化に努めていきます。

公債費負担の健全度
実質公債費比率についてはH16年度～H18年度平均の13.6%から10.9%となり、全国平均や類似団体の平均よりも低く抑えることができました。引き続き新規発行債の抑制に努めていきます。

定員管理の適正度
定員適正化計画により職員の削減を実施した結果、人口1,000人当たりの職員数は6.19人となり類似団体平均の8.23人より少なくなっています。今後も行政サービスの向上を図るとともに適正な定員管理に努めます。

将来負担の健全度
類似団体平均、県内市町村平均より下回っています。今後、新たな市債の借入については、現在の社会資本の整備水準と将来負担のバランスを考えながら、財政の健全化に努めます。